



# 環境・社会報告書 2011

2010.10.21 ~ 2011.10.20

# ■ 編集方針

カナエは2003年より「環境報告書」を発行してまいりましたが、今回の発行分より企業の社会的責任(CSR=Corporate Social Responsibility)に関する活動内容をより多く取り入れ、タイトルをこれまでの「環境報告書」から「環境・社会報告書」に変更することにしました。このレポートをカナエの社会的責任全般についてステークホルダーの皆様にお伝えできる情報開示ツールとします。

今回のレポートの構成は、「お客様とのかかわり」、「環境へのかかわり」と「社会へのかかわり」に区分し、特に「お客様とのかかわり・社会へのかかわり」をクローズアップするようにしました。

なお、本レポートは環境省の「環境報告書ガイドライン(2007年度版)」を参考に制作しました。

## 【対象期間】

2011年度  
2010年10月21日～2011年10月20日  
\*活動内容に一部2012年度を含みます。

## 【対象範囲】

本社・東京支店・各営業所及び、神戸・栃木工場  
\*一部グループ会社のトピックスも掲載しました。

## 【報告に関するお問合せ先】

株式会社カナエ 経営企画部 ISO担当  
TEL:06-6945-1140 FAX:06-6945-1211

報告書発行日：2012年4月

## 目次

トップメッセージ	2
企業理念	3
環境・社会報告書の構成	4
<b>お客様とのかかわり</b>	
1. コーポレートメッセージ	5
2. 事業概要	6～7
3. 事業分野のご紹介	8
4. 10年後のビジョン	9
5. 中期経営計画	10
6. 品質保証体制	10
7. 事業継続計画	10
8. お客様・取引先様の「声」の共有化	10

## 環境へのかかわり

1. 環境方針	11
2. 環境包装への取り組み	12
3. 環境ホームページの掲載	12
4. 環境マネジメントシステム	13
5. 環境マネジメント推進体制	13
6. 環境保全活動の概要	14
7. サイト報告 / グループ会社の取り組み	15～16
8. 環境パフォーマンス	17～21

## 社会へのかかわり

1. 消費者課題への取り組み	22
2. 震災支援活動	23
3. コンプライアンスへの取り組み	23
4. 社員への責任	24～25
5. 地域コミュニティ	25
会社概要	26

# トップメッセージ

2011年3月11日に東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。  
被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社でも震災の影響を少なからず受けることとなりました。栃木工場は、機械等設備が破損し、建物も壁などが損傷を受け、操業ができなくなりました。また、お得意先様やお取引先様の多くも被害を受け、包装資材もサプライチェーンの分断で、供給が困難になりました。その中で、社員はもちろん、設備関連の協力会社の迅速な対応のお陰で、1ヶ月以内に全てのラインが稼働することが可能になり、また、包装資材の供給につきましても、お取引様の多大なご協力を得ながら、徐々に回復しております。今回の経験を活かすために、「事業継続計画」を策定しており、今後運用面の整備をしていく予定であります。

当期から10年後を見据えた新しい中期3ヶ年計画がスタートいたしました。経営基本方針も10年後を見据えての見直しを行いました。環境については、「地球環境にやさしい製品づくりや環境保護活動を通じて、社会に貢献する」という項目を経営基本方針に盛り込みました。

当社はISO14001の認証を取得してから10年が経過いたしました。これまでは、自社に対する環境保全活動が中心でありましたが、今後は上記の環境についての経営基本方針に書かれていますように、自社の環境保全活動はもちろん、これまで培ってきました包装技術の活用や製造部門の効率化推進などにより、環境負荷低減製品の開発及び拡販を積極的に行ってまいります。

今日、企業には、環境だけでなくそれ以外の取り組みについても、企業の社会的責任として強く求められています。当社におきましても、環境だけでなく、すでに労働、衛生、コンプライアンスなど他の分野においてもいろいろな取り組みをしておりますので、今回のレポートより、その内容も組み入れ「環境・社会報告書」として発刊することいたしました。

これまでの「環境報告書」に引き続き、「環境・社会報告書」に対しましても皆様からの忌憚のないご意見、ご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
岡本 邦昭

# 企業理念

環境にかかわる企業理念は、従来の「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」という表現を「地球環境にやさしい企業活動を行う」に変更しました。新しい理念は、「より外向きに、積極的で・広範囲に環境問題に取り組んでいく」というカナエの意思を表現しています。

## ■顧客第一主義に徹する

すべての事業はお客様と共に始まり、お客様と共に終わります。私たちはいかにお客様に満足していただけるかを、常にお客様の視点で考え行動します。そしてお客様との信頼関係を強くしていきます。

## ■健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する

健康を維持し、快適で豊かな生活をするために必要なあらゆるものに、私たちは関心を持ちます。そして、その中で私たちにできることはないだろうかと考え続けます。そのような質の高い商品や質の高いサービスを創出し、社会に貢献することが、私たちの使命です。

## ■情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する

お客様のニーズをはじめ、市場動向や新商品等の情報と社内外に蓄積された開発・製造技術を知恵によって組み合わせ、お客様に満足していただける質の高い商品、質の高いサービスを生み出していきます。

## ■社員の人生の充実を重んじ、 希望と誇りと働き甲斐のある企業にする

企業のために人がいるのではなく、人のために企業があるのだと考えます。カナエで働くことを通して、私たちは「希望」と「誇り」と「働きがい」をキーワードとした企業づくりをします。将来に向けて充実感と達成感を持って働ける環境をより強固にしていきます。

## ■地球環境にやさしい企業活動を行う

これまで培ってきた包装技術の活用や製造部門の効率化推進などにより、環境負荷低減商品の開発及び拡販を行います。又、カナエの事業特性を活かした環境保護活動を推進し、美しい地球を守ります。

## ■企業の社会的責任を果たしていく

今日の企業は社会から「企業の社会的責任」(CSR)が強く求められています。「企業の社会的責任」とは、企業は「経済的」側面だけでなく、「環境」や「社会」的側面に対しても社会の一員としてバランスよく責任を果たしていくべきという考え方で、企業価値を高める大切な活動であります。ステークホルダー(利害関係者)の顧客、取引先、株主、社員、地域社会、官公庁、金融機関などの方々に向けた活動を通して、カナエは、すでにCS、環境などの活動に取り組んでいますが、さらに高い意識を持って活動し、「企業の社会的責任」を果たしていきます。



# 環境・社会報告書の構成

お客様とのかかわり



社会へのかかわり



環境へのかかわり



「環境・社会報告書 2011」は、大きく3つのパートから構成されています。従来の環境報告書の中心でありました【環境へのかかわり】に加えて、【お客様とのかかわり】【社会へのかかわり】についてもクローズアップしています。3つの活動はそれぞれ独立して取り組んでいるわけではなく、重複する活動もあります。

本報告書を通じて、カナエの事業活動についてより広く知っていただきたいと考えています。

・【お客様とのかかわり】

カナエのコーポレートメッセージであります  
 <お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる>を実現するための事業活動についてご紹介します。

・【環境へのかかわり】

ISO14001 に準拠して活動するカナエの環境への取り組み状況と、パフォーマンス（取り組み成果）についてご紹介します。

・【社会とのかかわり】

社会に対して果たすべき役割として「消費者課題への対応」「震災時の対応」及び「社員への対応」についてご紹介します。

## 1. コーポレートメッセージ

### <お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる>

カナエは企業理念・経営基本方針の基軸にある「顧客満足経営・顧客第一主義」の実現イメージをより具体的に表現したものをスローガンに掲げ、全社一丸となり顧客満足を追求しています。

顧客満足経営を通じて

#### ①お客様に満足いただける品質（商品・受託商品・設備・サービス・社員の資質）の向上を図る。

お客様より支持をいただき、選んでいただける質の高い商品、質の高いサービスなどはどのようなものかを明確にし、その実現を図っていきます。

#### ②顧客第一主義という考え方を社員一人ひとりにまで浸透させる。

質の高い商品、サービスに対し各部門での具体的検討、作業を通じて顧客第一主義の考え方をそれぞれ社員全員が理解し、その視点で常に自分の業務を見直し、遂行できる風土を培っていきます。

#### ③CS活動を通じて社員の力を結集させ、活力ある集団をつくり、縮小均衡からの脱皮を図り、永続的に発展しつづける基礎をつくる。(ES)

顧客満足経営の強化というベクトルの一本化により、働き甲斐のある社風を構築すると共に活力ある戦う集団をつくり、飛躍できるカナエをつくり、更なる顧客満足を追求していきます。

CS: Customer Satisfaction の略で顧客満足度のことで、企業業績を向上させるための重要な要因です。  
ES: Employee Satisfaction の略で社員満足度のことで、CSに深く結びつきます。

包むことは、

まもること。



## 2. 事業概要

### 総合包装企業

カナエは総合包装企業として包装に関するあらゆる課題をトータルサポートする、独自のビジネスモデルを有しております。

### 3つのチカラで、安心を包む

包装材料、包装機械、包装加工、この3つが調和してはじめて「商品」が完成すると考えています。

包装材料メーカーとのネットワークや各種情報の分析・提供力に加えて、研究開発部門、受託包装加工の専用工場を保有しているのはそのためです。また、カナエエンジニアリング、カナエテクノス、カナエシーエスパックとのグループの強みを活かした連携により、包装へのトータルなアプローチを実現しています。

#### ①包装材料 「包む」をコーディネート

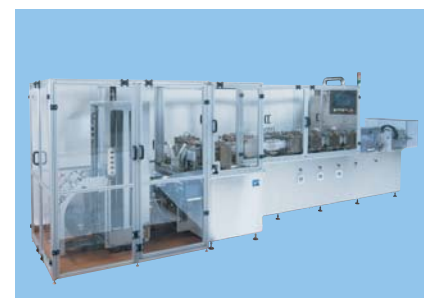
ニーズを多角的に分析し、最適なパッケージをご提案します。

豊富なケーススタディが身近にあることー包装加工、包装機械を自社で手がけるカナエの強みは、独自のパッケージ対応にも活かされています。お客様のニーズを軸に、包装材料の設計から包装形態、安全衛生、さらには生産システム適性にいたるまで、包装の全プロセスを多角的に分析、蓄積した情報とノウハウを活かして、最適なパッケージング提案を行っています。また、国内外500社以上の取引先様とのネットワークにより、多彩な包装材料を安定供給しています。オリジナルの新規包装材料・形態の企画提案や、各材料メーカーとの共同開発を通じて、市場にはないユニークなパッケージの創出にも力を注いでいます。



#### ②包装機械 「包む」をバックアップ

現場の声と「ものづくり」が直結ー使用する立場、視点に立った提案が、カナエの包装機械事業の大きな特長です。包装材料との適性や内容物の特性に加え、使用段階で生じやすい不具合や使い勝手を、包装加工事業での経験・ノウハウにもとづいて徹底的に吟味しています。機械と包装材料の専門スタッフを交え、加工・包装工程を主体とした製造工程に最適なシステムの企画、設計を行っています。有力包装機メーカーの包装機械の販売とともに、独自に企画・設計した包装機製作にも取り組み、システム・エンジニアにおけるトータルサポートを実現しています。



### ③包装加工 「包む」をカタチに

独自のノウハウ技術で商品価値を高める包装加工業務ーお客様から委託を受け、包装加工を行うコントラクトパッケージング（受託包装）と、最終製品まで仕上げるコントラクトマニュファクチャリング（受託製造）。いずれにおいても、カナエの各種業態許可を得た技術力、品質管理能力、生産能力が最大限に活用されています。分野ごとに独立した包装加工工場を保有し、最新の設備と厳しい品質管理のもと、PTP包装、ストリップ包装、三方・四方シール包装、スティック包装、特殊包装など、多種多様な形態の包装加工に対応しています。





### 3. 事業分野のご紹介

カナエでは、その事業領域を「Life Care & Produce」と定めています。生命をまもり、豊かな生活を演出する包装のカタチを追求し、今日まで医薬品や化粧品、食品など幅広い分野において事業を展開してきました。

これからも、包装を通じ暮らしのあらゆるシーンに新しい価値を生み出すことによって、人と社会に貢献していきたいと考えています。

**医薬品分野**  
Pharmaceuticals

**メディカル分野**  
Medical products

**化粧品分野&トイレットリー**  
Cosmetics and Toiletries

**食品分野**  
Food products

**その他**  
Others

## 4. 10年後のビジョン

## 10年後のビジョン 「新しいパッケージで市場創造型企業NO.1」

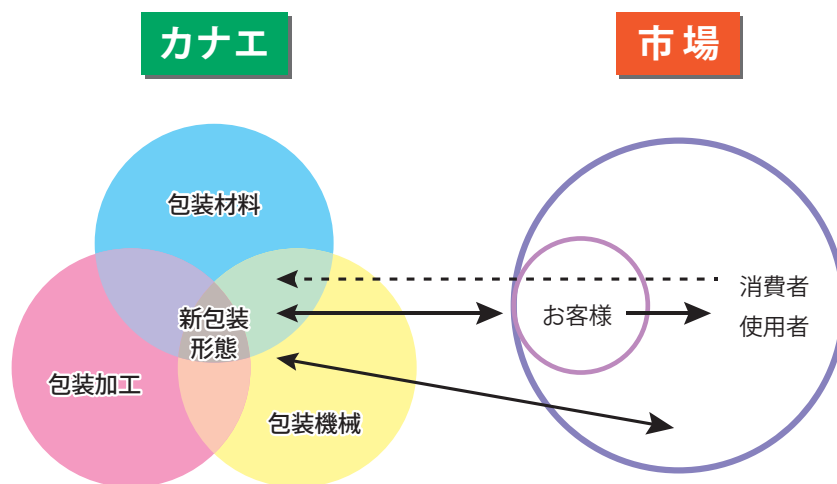
10年後カナエが、「お客様」からどのような企業として認められたいかを「10年後のビジョン」として策定しています。

「新しいパッケージで市場創造型企業No.1」とは、『お客様』『消費者・使用者』で顕在化している課題、潜在的な不都合、『お客様の変化』『世の中の変化』

を機敏かつ的確に捉え、カナエの包材・加工・機械・システム・技術のトータルサポート力で、高付加価値の「新しいパッケージ」を開発、その提供を通して今までなかった利便性を他社に先んじて世の中に提供しつづけることにより、包装における「市場創造型企業」と言えば、『カナエ』と真っ先に思い出しただけになるようになります。

### マーケティング力の強化

カナエの強みである「包装材料」「包装加工」「包装機械」の3要素でトータルサポートし、お客様へご提供させていただきました。この既存のサポート体制を更に強化するとともに、消費者・使用者視点で開発を進める為の「マーケティング力」を強化し独自の能力を高めてお客様へ提供を続けていきます。



## 5. 中期経営計画

### キャッチコピー：包装で未来を創る — Exceed ourselves —

10年後のビジョンの実現に向けた新たな中期3ヶ年計画のもと、よりお客様の目線で、より市場に身を置いて考え、行動できる企業を目指しています。

新たなキャッチコピーには「包装・未来・創る」をキーワードとして、包装の原点に立ち戻り長期を展望した市場をイメージし、能動的な市場への提案を行うことを実践していきます。

## 6. 品質保証体制

人々の生命や生活に深く関わるカナエの事業活動において、品質保証体制の維持・向上は最も重要なテーマといえます。カナエでは全社的な体制を構築・推進する部署として品質保証部門を設置、薬事法など法規制対応をはじめ、関連部署と連携してお客様のあらゆるご要望に速やかにお答えしています。



包装材料については、品質異常に対するメーカーの原因報告と対策を検証、実施状況の継続的確認を行っています。メーカーと情報を共有し、相互協力のもと品質向上に努めています。

コントラクト業務においても、GMP、HACCPの遵守はもとより、お客様に提供する製品の品質保証体制の改善と強化に日々取り組んでいます。

## 7. 事業継続計画

### BCP策定について

地震や火災等の災害時に、少しでも被害を少なくし、事業を速やかに再開し、お客様に極力ご迷惑をお掛けせず、また社員の安全のために、事業継続計画を策定しました。まだまだ整備しなければならないこともあるため順次進めていきたいと考えています。

## 8. お客様・取引先様の「声」の共有化

### 取引先様との関係強化

これまでは、お客様がカナエに対してどのような不満や評価をされているかについてのアンケート調査を実施してきましたが、今年度は取引先様に対してのアンケート調査を実施しました。取引先様の現状のカナエに対する満足点・不満点を調査することで、経営基本方針に謳われています『取引先様との関係を深め、共存共栄を図る』ための具体的な方策について検討するためであります。実施方法としては、郵送での書面調査と取引先様へ訪問してのヒヤリング調査を実施しました。

### 「JOYカード」(お客様からの喜びの声)の共有化

カナエでは、4年前より「お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる」というコーポレートメッセージにもとづき、その活動の一環として、お客様から頂いたお褒めの言葉や感動された内容を「JOYカード」として社内で共有化しております。今期はその件数が約500件になり大幅に件数が増え、その活動も年々定着しつつあります。次年度は700件を目標としています。

## 1. 環境方針

### < 環境理念 >

当社は、< 豊かな自然に恵まれた地球 >、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境にやさしい企業活動を行います。

### < 行動指針 >

- 1) 総合包装企業として包装資材及び包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、エネルギー使用に起因する地球の温暖化、容器包装廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じるこうした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

- ① 容器包装廃棄物の削減とリサイクル化の推進
- ② 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub>排出量の削減)
- ③ 環境負荷低減製品の拡販及び開発
- ④ 環境に負荷の少ない製品の製造

上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。

そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

- 2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を順守します。
- 3) 当社は、この環境方針を全従業員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。
- 4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

2010年10月21日  
取締役社長 岡本邦昭



## 2. 環境包装への取り組み

企業活動そのものが地球環境問題に直結している私たちにとって「環境包装」への積極的な取り組みは使命であると考えています。カナエでは神戸工場に併設された包装技術開発研究所が中心となり、数多くのお客様からのご要望に応じて、蓄積された経験を活かし、多種多様な包装材料と、カナエ独自の包装に関する加工技術や機械設計のノウハウを融合させ、さまざまな包装テーマに対して、的確かつスピーディに課題を解決する方法をご提案していきたいと考えています。そのために、常に未来を視野に置いた新規包装材料の開発、包装デザインの研究、新規包装形態の開発、環境負荷低減商品の開発、包装加工における機械適性の研究、新規包装機械開発の基礎調査を行っています。

カナエオリジナルや取引先様との共同開発から生まれる商品をサンプルやプレゼン資料をご用意してお客様へご提案を行っています。



## 3. 環境ホームページの掲載

カナエホームページでは、カナエオリジナル製品や、提携先包装材料を製品別、分野別で掲載させていただいております。その中に環境へ配慮した環境負荷低減商材も併せてご紹介をさせていただき、インターネットからもお問い合わせができるようにしております。

また、環境関連の話題をピックアップしてエコロジー情報誌「e情報」として毎月発行し、お客様へご紹介させていただいております。





## 4. 環境マネジメントシステム

### ISO14001 の運用管理状況

ISO14001 認証取得の状況

カナエが ISO14001 認証取得を目指して活動を開始したのは 2001 年 5 月でした。

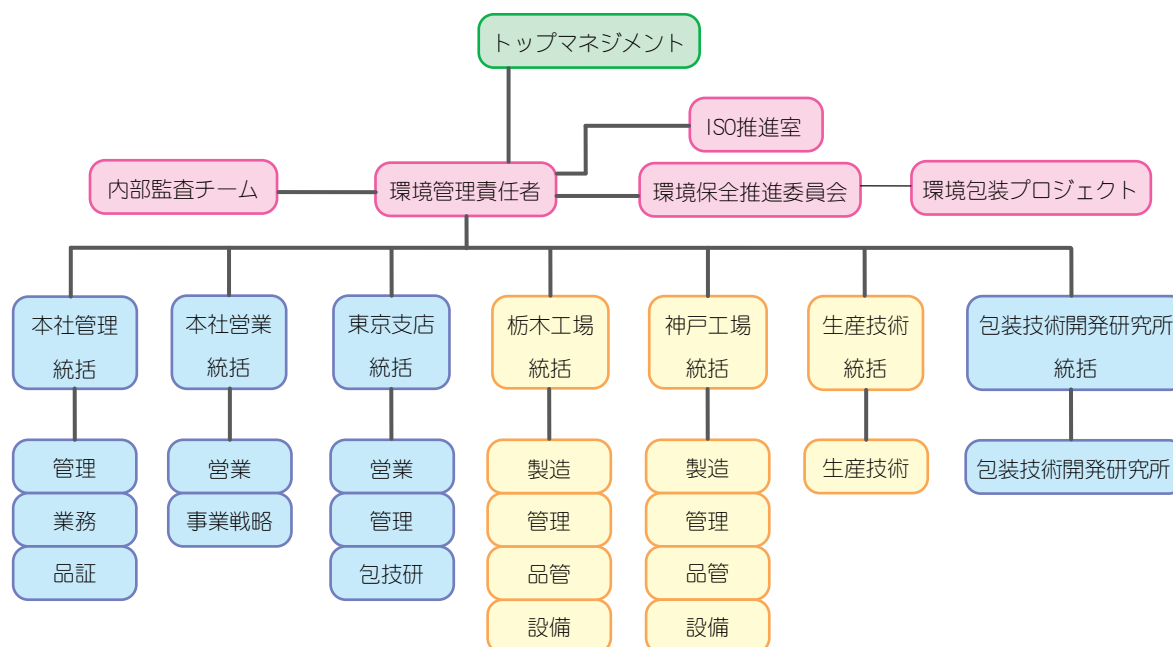
それ以降の ISO14001 の認証取得の経緯を次に紹介します。

年 月	経 緯
2002 年 3 月	関東地区（東京支店、栃木工場）にてカナエとして初めて認証取得
2003 年 3 月	本社地区（関東地区を除く全部門）にて認証取得
2004 年 3 月	関東地区と本社地区を統合し、株式会社カナエの EMS を構築
2006 年 3 月	初めての更新審査を受審し、認証継続が承認される
2009 年 3 月	2 回目の更新審査を受審し、認証継続が承認される
2012 年 3 月	3 回目の更新審査を受審し、認証継続が承認される

## 5. 環境マネジメント推進体制

### 環境保全推進組織

カナエは環境保全推進活動を実施する上でその推進母体となる「環境保全推進組織」を構築しています。



## 6. 環境保全活動の概要

カナエの工場、オフィスは2011年において下記の環境保全活動を実施しました。

部署	環境保全活動
工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●省エネの推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温室効果ガスの排出量削減</li> <li>2. 使用電力の削減</li> <li>3. 省エネ設備の導入推進</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境汚染物質管理</li> <li>2. 廃棄物の削減</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境に負荷の少ない製品の製造               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機械稼働率の向上</li> <li>2. 資材収率の向上</li> <li>3. 作業の合理化</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法規制その他の要求事項の順守               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適用される法規制及び利害関係者からのその他の要求事項の順守</li> </ol> </li> </ul>
オフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●省エネの推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温室効果ガスの排出量削減</li> <li>2. 使用電力の削減</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境汚染物質管理</li> <li>2. 廃棄物の削減                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・不良在庫金額の削減</li> <li>・分別収集の徹底</li> <li>・コピー用紙使用量の削減</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境配慮製品の拡販と開発               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境負荷低減商品の拡販</li> <li>2. 環境負荷低減商品の開発</li> <li>3. 環境負荷低減商品の情報収集と提供</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境教育啓発活動の推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社内環境教育の推進</li> <li>2. 取引先、委託先の環境保全活動推進のための教育啓発</li> </ol> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法規制その他の要求事項の順守               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適用される法規制及び利害関係者からのその他の要求事項の順守</li> </ol> </li> </ul>

### 環境監査実施状況

2011年度も内部監査については、期初及び、中間期の2回/年、本社・東京支店、各工場、営業所に対して実施いたしました。又、外部認証機関による外部監査も行っています。2011年度は2回目の定期審査であり、本社の移転に併せ変更審査も兼ねて実施しました。結果については軽微な指摘は無く、14項目の改善の機会がありました。その改善の機会については全項目について改善しました。

## 7. - 1 <サイト報告>

本年度は、震災及び津波により、電力供給不足が発生し、ピーク電力削減に関わる対応が一番の課題でした。カナエは削減対象事業者にはならなかったものの、自主削減数値を設定し、全社一丸となって電力削減に取り組みました。

全社共有の削減対策として、クールビズの実施と省電力対応では、照明の間引き、パソコンの不要時の電源OFF啓蒙、昼食時の消灯など身近なところから始めました。

各サイトでもそれぞれの目標を設定し、電力削減を行いましたので、その取り組み事例を紹介させていただきます。

### 工場の環境保全活動

#### 神戸工場

◇電力会社からの要請も踏まえ、ピーク電力の節電対応を実施することにしました。

◇管理事務所への冷陰極照明の設置、工場事務所内の照明間引き、工場内の冷陰極照明の活用、パソコン電源OFF啓蒙、倉庫の温度設定の変更、自販機の台数削減、室外機への散水器設置などに取り組みました。

#### ◇実績トピックス

上記検討項目実施の結果、5月から6ヶ月間（カナエ期末）ではCO<sub>2</sub>排出量は昨年対比364.6t-CO<sub>2</sub>/413.7t-CO<sub>2</sub>で約12%の削減となりました。又、室外機への散水器の水散布により空調の効率化が図れました。



神戸工場外観



神戸工場 推進担当  
川楠哲雄さん



太陽光発電機

#### 栃木工場

◇震災の影響を受けて約1ヶ月の生産停止期間を乗り越え、急遽デマンド計を新設し、ピーク電力削減にトライアルしました。

◇休日を輪番にとるシフト変更で平日の使用電力削減と、工場間接部門の照明・外灯の間引き、倉庫温度設定の変更、給湯器・自販機の台数削減、自販機の省エネタイプへの変更などを行いました。

#### ◇実績トピックス

節電対応を実施した5月から6ヶ月間（カナエ期末）ではCO<sub>2</sub>排出量は昨年対比555.2t-CO<sub>2</sub>/610.5t-CO<sub>2</sub>で約9%の削減となり、お客様の意向もあり一部の品目について生産拠点を神戸工場に移すなどで生産高の減少があるものの電力原単位でも2%程度の削減に寄与しました。



栃木工場外観



栃木工場 推進担当  
菊島光一さん



エコジャケット

## 7. - 2 <サイト報告>

### オフィスの環境保全活動

#### 本社

◇3月22日より新本社に移転したことにより、1フロア体制となりました。高効率照明、遮熱フィルムは既に採用されたビルでしたので、入居時には照明スイッチの細かい区画分けを行った上で unnecessary 照明の点灯不可も実施し、空調はビル側で集中管理のため18時以降申請制度になり、必要部門のみの使用制限ができました。

◇移転に伴い、社用車(ライトバン)の台数削減と乗用車のハイブリッド車への追加更新によりガソリン使用量も削減できました。

#### ◇実績トピックス

テナント入居の為、推計値ですが、旧本社対比で約15%(4~10月)の絶対値で低減できました。



本社推進担当  
大森寛之さん

#### 東京支店

◇関東方面の節電対応は都内全域に渡り活動されて、交通機関などは電車内消灯、エスカレーターの間引きや街のネオンも節電で100万ドルの夜景も影を潜めていました。

◇東京支店では消灯及び、照明間引きはもちろん窓用遮熱フィルムの採用とサーキュレーターの併用により空調温度の低減に繋がり、電力削減が実現できました。

#### ◇実績トピックス

今年は震災に関係なく遮熱フィルムの採用を計画し、電力削減が実現でき絶対値でも前年対比約17%の削減に繋がりました。



東京推進担当  
中西洋文さん

#### 名古屋営業所

◇全社共有の節電対策を打ちつつ、節電対応として今夏、冷房の使用を時間制限し、扇風機の代用で暑い夏をしのぎました。

又、冬場は暖房を電気からガストーブに変えてCO<sub>2</sub>削減に貢献しました。

#### ◇実績トピックス

照明を期中に高効率照明に変更し、電力削減を図り約8%の節電を達成しました。



名古屋推進担当  
高井秀一さん

#### 富山営業所

◇少人数での対応なので、周知が行き届き各自の意識が高まり、大幅な節電が実現しました。

#### ◇実績トピックス

上期は増加傾向であった電力も下期に全社の節電対策を実施して約2%の節電が達成できました。



富山推進担当  
吉田かおるさん

### グループ会社の取り組み

グループ会社であります株式会社カナエシーエスパックは、食品等の充填包装の受託加工をメインとした事業活動を行っています。環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献するため、エコステージ1認証を目指して約1年前より活動を開始し、2012年1月に認証取得の予定で進んでおります。認証取得後もより一層皆様にご安心していただける商品作りを目指し、品質と安全を主軸に環境にも配慮した企業活動を行ってまいります。



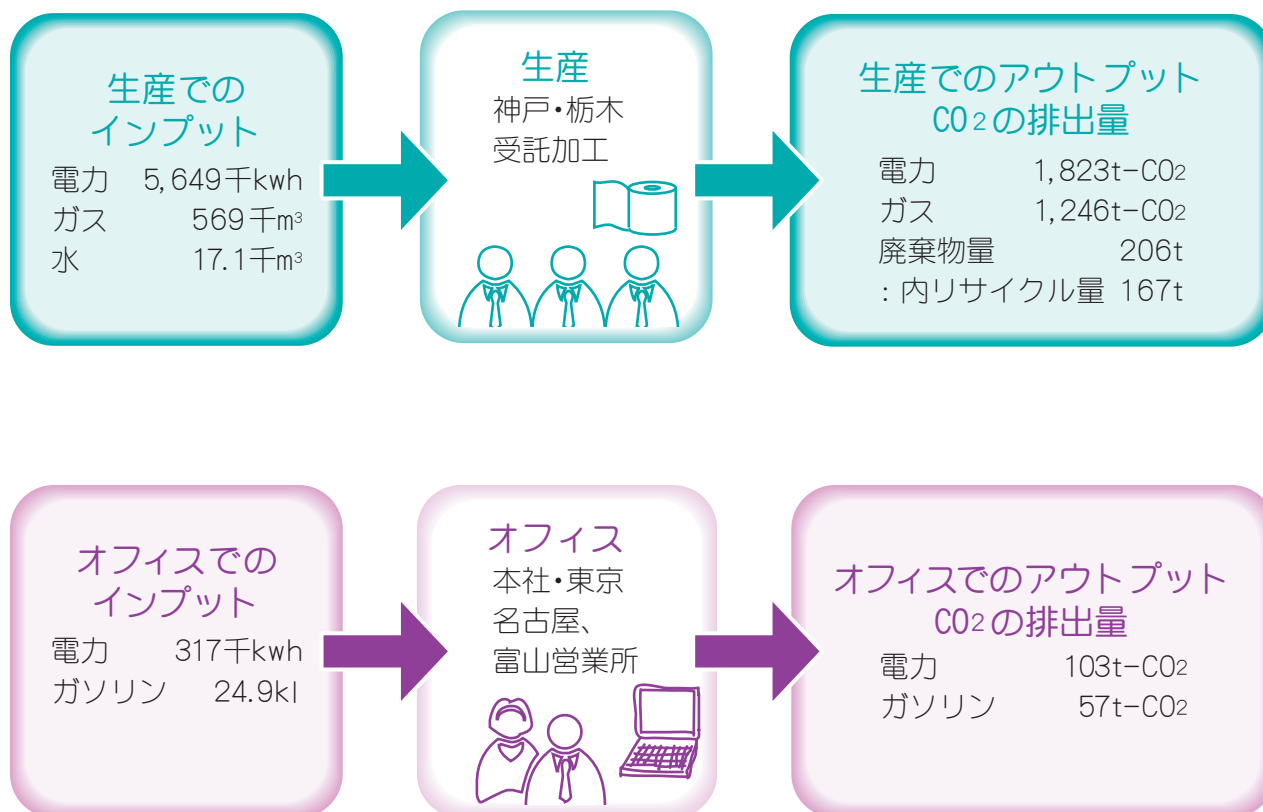
(2012年2月認証取得しました。)



## 8. 環境パフォーマンス

### 事業活動のマテリアルバランス

カナエの生産とはお客様から原材料をお預かりし、内容物を包装する受託加工を行うことです。「生産でのインプット」の水は78%を製品原料として使用しています。





## 環境目標と実績報告

新たな中期3ヶ年計画を設定した1年目の実績を下記にまとめました。

○：達成 ×：未達成（昨年度比：2010年対比）

項目	目標	活動内容	達成度
CO <sub>2</sub> 排出量削減	事業活動で排出されるCO <sub>2</sub> 量 昨年比1%削減。	生産エネルギー効率の見直しを実施	○ (昨年度比3%削減)
廃棄物削減	最終処分廃棄物の原単位を昨年比2%削減。	分別を細かくし、最終処分廃棄物の量を削減する取り組みを実施	○ (昨年度比34%削減)
環境負荷低減商品の開発	環境にやさしい包装商品を5件以上開発。	包装技術開発研究所が開発し、営業への説明を行う。	× (2011年2件開発)
環境負荷低減商品の拡販	環境にやさしい包装商品を年間7,000万円以上拡販する。	営業員がお客様に環境にやさしい包装についての情報提供を行う。	○ (14,913万円)
環境に負荷の少ない製品の製造	カーボンフットプリントの実施に当たり、データが収集できている。	各工場で機械毎の電力測定からCO <sub>2</sub> 排出量の測定を実施。	×
環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回、全社員を対象とした環境への教育が開催されている。</li> <li>社内報掲載記事による全社員への3回/年以上啓蒙。</li> </ul>	推進室主催の環境教育や定期発行の社内報による全社員への啓蒙活動を行う。	×
仕入先、委託先への環境保全活動実施の啓蒙	環境保全活動への取り組み先が新たに1社以上増加。	委託先に対し、廃棄物処理や節電についての啓蒙活動を実施。	○
法規制及び当社の同意した環境上の要求事項の順守	法規制の動向を常に注視し、規制事項の順守が行われている。	適用法規制の特定を行い、各項目を事業所別で定期的に評価を行う。	○

\*1：カーボンフットプリントは商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、当該商品及びサービスに簡易な方法で分かりやすく表示する仕組み。

## 環境会計報告

カナエでは、環境保全のための投資や費用を定量的に把握し、その投資効果や費用対効果を知るために、環境会計の導入を進めております。本年度は、製造部門である、栃木工場、神戸工場を対象に集計した環境保全コスト並びに投資額を掲載しています。

### 【対象期間・集計範囲】

集計期間：平成22年10月21日～平成23年10月20日

集計範囲：製造事業所（栃木工場・神戸工場）

集計方法：環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に集計

### 【集計結果】

環境保全コストの分類		投資額（千円）	費用額（千円）
1) 事業エリア内コスト	①公害防止コスト	1,715	15,001
	②地球環境保全コスト	—	16,108
	③資源循環コスト	—	11,969
2) 上・下流コスト		—	331
3) 管理活動コスト		8,250	4,693
4) 研究開発コスト		—	—
5) 社会活動コスト		—	—
6) 環境損傷対応コスト		—	—
合計		9,965	48,102

### 【主な投資の内容】

事業所	投資の内容	投資額（千円）
栃木工場	デマンド電力量監視装置	2,450
栃木工場	浄化槽設備	4,515

## 環境コミュニケーション

### 取引先様への取り組み

カナエは包装材料を供給いただく取引先様と、一部委託加工をお願いしている委託先様へも環境保全活動の啓蒙を行っています。

今年は委託先様に向けた環境保全の一環として、環境基本法に基づく法令の順守状況の確認・啓蒙活動を10社に実施し、3社に運用改善をお願いしました。

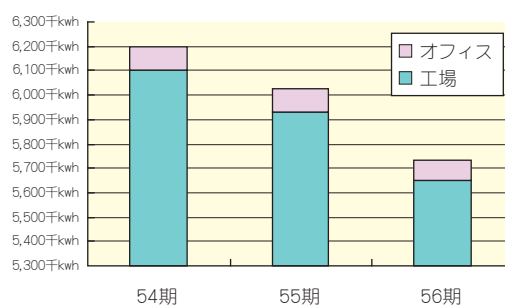
### 環境指標一覧表

#### ①-1 電力使用量（絶対値）

(単位 千kwh)

	54期	55期	56期
工場	6,101	5,930	5,649
オフィス	97	97	85
全体	6,199	6,028	5,734

\*55期から56期にかけては工場の使用量の削減が目立ちますが、神戸・栃木両工場は夏のピーク電力の削減努力の結果が大きく寄与しました。

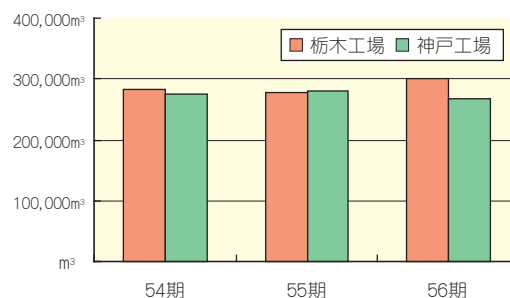


#### ①-2 ガス使用量（絶対値）

(単位 m³)

	54期	55期	56期
栃木工場	284,017	278,101	300,732
神戸工場	274,123	279,967	268,057
全体	558,140	558,068	568,789

\*神戸工場ではボイラーを1基使用制限、冷却塔の水散布などを実施したことにより使用量の削減につながりました。

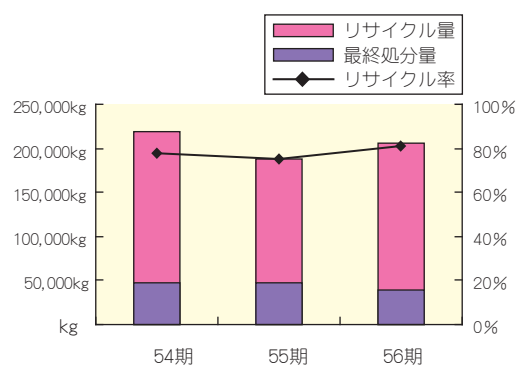


#### ② 廃棄物排出量

(単位 kg)

	54期	55期	56期
リサイクル量	171,830	141,038	166,910
最終処分量	47,860	46,883	39,043
合計	219,690	187,921	205,953
リサイクル率	78%	75%	81%

\*主に工場からの廃棄物となりますが、受託包装のため受注量の増加に比例して廃棄物が増えますので、分別と内容分析を行い、製造時の廃棄物の削減のための効率化推進によりリサイクル率の向上に努力しています。



③環境負荷低減商品開発（包装技術開発研究所）

目標値		54期	55期	56期
年間5件以上の開発	完成件数	5件	5件	2件
	達成率	100%	100%	40%
	商品名	①液体パウチ シーラントの薄肉化 ②吊り下げ型コスモパック ③自立型コスモパック ④コスモPTPコンパクト化 ⑤成分解プラ滅菌プリスター	①モイストチャッチ ALAL-PTP ②CAPパック ③PLAラミネート ④エコボトル ⑤ピールパウチ	①PLAプリスター ②PTPアルミ蓋材

④環境負荷低減情報収集

目標値		54期	55期	56期
年間340件以上の情報収集	件数	374	823	611
	達成	○	○	○

⑤環境に負荷の少ない製品の製造

⑤-1 環境負荷低減情報の提供

目標値		54期	55期	56期
年間5,000件以上の情報提供	件数	5,053	5,765	6,304
	達成	○	○	○

⑤-2 包装機械稼働効率の向上

目標値		54期	55期	56期
18.3時間/1,000個以下	栃木工場：R機	20.25	20.66	20.34
		—	—	×
稼働率 94%以上	神戸工場：N機	90.5%	93.1%	93.0%
		—	—	×

⑤-3 資材収率の向上

目標値		54期	55期	56期
資材収率 94%以上	栃木工場：R機	93.7%	93.4%	95.1%
		—	—	○
資材収率 93%以上	神戸工場：N機	89.8%	92.1%	90.6%
		—	—	×

⑥グリーン購入の推進（工場、オフィス）

目標値		54期	55期	56期
グリーン購入率80%以上	購入率	81.0%	85.5%	87.0%
	達成	○	○	○



## ⑦取引先様、委託先様への環境保全活動実施の啓蒙

ISO 活動の一環として、取引先様、委託先様に環境保全についての啓蒙活動を実施しました。

生産企画部門：10社の委託先様を訪問し、環境保全活動の推進と環境法規制の順守確認を行いました。

東京支店管理部門：10社の取引先様に環境保全のアンケート調査を行い、その後、取引先様にお越し頂き、品質向上と環境についての勉強会を行いました。

本品質保証部門：取引先様、委託先様に品質向上、不良品の発生防止に向けての啓蒙活動を月1件以上、活動しました。

## ⑧法規制及びその他の要求事項の順守

法令の順守は社会に支えられてこそ存続可能な企業にとって最低限の責務といえます。

カナエに適用される法令はもちろん、関連する法令の順守も常に心がけ、56期も活動しました。

カナエに適用される環境関連法令は以下の通りです。

- ①廃棄物関連：「廃棄物処理法」
- ②リサイクル関連：「容器包装リサイクル法」、「家電リサイクル法」、「建築資材リサイクル法」
- ③騒音、振動関連：「騒音規制法」、「振動規制法」
- ④水質関連：「下水道法」、「水質汚濁防止法」、「浄化槽法」
- ⑤その他「省エネ法」、「消防法」、「工場立地法」、「フロン回収破壊法」、「電気事業法」

さらに関連の条例も順守対象となります。

環境関連の法規制は世界的な環境保全推進の中で、頻繁に改正が実施されるため改正情報を早急に把握することが必要です。

カナエでは年4回、関連法規制改正の最新情報を調査し、順法の定期評価を実施しました。

特に56期はピーク電力削減に係わる「電気事業法」では、適用外となりましたが自主活動として主に工場における電力削減対応を実施いたしました。その他の適用法規制に関しては、定期評価の結果、適用される法規制全てにおいて規制順守を確認しました。

## 1. 消費者課題への取り組み

### 大学との共同研究及び共同開発

大学の薬学部と契約を結び、薬剤包装と使用性について共同で研究を行っており、現状の問題点や医師・薬剤師・患者から得られる情報をもとに新しい包装形態・包装機能の開発に取り組んでいます。

### ユーザー（使用者、消費者）ボイスの収集と活用

新たな開発品の検討にあたっては千葉県を中心に26店舗の調剤薬局を展開している企業の協力を得て、薬局の薬剤師の方々へのアンケート調査や共同開発を実施しています。また、一般ユーザーに対してもインターネットを利用してアンケート調査できるルートを構築し、CRSF機能（Child Resistant Senior Friendly）、表示性、携帯性、服薬順守などを評価対象とし有効性や使用性の検証を行い、使用者の立場としての意見を考慮して開発に取り組んでいます。



### 展示会への出展

「第24回インターフェックス ジャパン」が6月29日（水）～7月1日（金）の3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催されました。同展は、医薬品・化粧品・洗剤を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術を一堂に集めた展示会であり、アジア最大の国際的なイベントとして定着しています。

会場内は、製造工程・製品カテゴリーごとに17ゾーン、4つの特設EXPOが設置されていました。今回、カナエのブースでは、「お客様のパッケージへの想いをカタチに」をコンセプトに「**医薬品** 受託製造 EXPO」に出展いたしました。カナエ取扱商品の展示に加え、環境負荷低減商品もカナエオリジナル品をメインに共同開発商品なども展示させて頂きました。





## 2. 震災支援活動

### 飲料水・義援金の支援

東日本大震災の支援として、4千万円を日本赤十字社へ義援金として寄付を行いました。この4千万円は、当初社員の慰安旅行として準備をしていたものですが、社員へ説明し寄付に至りました。また、福島第一原子力発電所の事故の影響で、東京都等が乳幼児に対し水道水を制限したことを受け、カナ工栃木工場のある栃木県真岡市から、今後のことを考え飲料水を備蓄するため、飲料水を確保したいとの問い合わせがありました。しかしながら、なかなかまとまった飲料水を確保することが難しかったため、関西の社員で一人10本飲料水を確保し、それをまとめて真岡市にお送りしました。

## 3. コンプライアンスへの取り組み

カナ工では52期に経営基本方針に「コンプライアンス」を追加し、表現を「法令・規則を遵守した企業活動を行う」に変更し現在も経営基本方針に組み込まれています。53期には企業理念にも「企業の社会的責任を果たす」という理念を追加し、カナ工の姿勢を明確にしました。

下記に今期の主な活動内容をご紹介します。

### 下請代金支払遅延等防止法の遵守

カナ工の取引先様の中には下請事業者に該当する取引先様が少なくありません。

そのため、購買部門、あるいは外製担当部門では、下請法の外部セミナーに参画し、下請法をマスターするようしております。現時点におきましては、当該部門全員が受講しております。今後は、新しく配属された新人を優先的に受講させ、常に全体のレベルアップを図っていくことを継続していきます。

### 企業倫理規程の検討

カナ工には上記に記載しております企業理念や経営基本方針はありますが、さらにその内容を具体化した規定がまだ策定されていません。

そのため、カナ工の「企業倫理」の策定を開始し、来期の初めには規定として定め、運用をしていきます。

(2012年1月21日に発効しました。)

### CSRへの対応

今日、お客様から、カナ工のようなサプライヤーに対してコンプライアンスも含めたCSRの取り組みを積極的に求められる時代になりました。カナ工でお客様からの査察やアンケート等を通じてサプライヤーに求められる取り組み内容を整理し、カナ工としてどういう取り組みが不足しているのか、あるいは今後どういう取り組みを強化すべきかなどを検討し、計画的に実践していきます。

## 4. 社員への責任

### 労働安全・衛生（HS）活動について

#### HS組織について

2011年にISO14001と労働安全を会社として統一した組織にするため、HS組織を策定しました。従来は労働安全については労働安全衛生法にもとづいた安全衛生委員会の活動を事業所ごとに行っていましたが、新たにカナエ安全衛生基本方針にもとづき労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、継続な改善に取り組んで参ります。

#### 安全衛生委員会の活動

安全衛生委員会は本社、栃木工場及び神戸工場の3事業所に設置して毎月活動を行っています。

今期の主な取り組みとして、健康増進月間の実施、本社移転プロジェクトのフォロー、インフルエンザ流行期の予防啓蒙活動等が挙げられます。健康増進月間は初めての取り組みで、メタボセルフチェックの実施、禁煙推奨のため喫煙室へのポスターの掲示、健康をテーマとした懸賞論文の募集を行いました。懸賞論文については健康に関する内容であればテーマは問わずに募集し、大賞と佳作については社内報に掲載しました。

本社移転プロジェクトのフォローとしては、プロジェクトチームで検討された内容に対して、安全衛生委員会の立場より確認を行い、移転後に全体巡視を実施、不安全箇所等の点検を実施しました。また、例年のインフルエンザ流行期には、全社的に手洗い・うがい・手指消毒の励行の啓蒙、感染予防ポスターの掲示などを実施しました。

また、各工場では、安全パトロールの年間計画に沿って現場の重点箇所を定め、毎月の現場巡視を通じて不安全箇所の特定と改善活動を実施しています。安全パトロールで発見された課題は毎月開催される安全衛生委員会で報告され、その改善に着手します。また、「ヒヤリ・ハット」や「KYT活動」などの活動にも取り組んでいます。

#### 本社移転

旧本社社屋は老朽化の問題から、地震等災害発生時の安全対策に不安があり、42年ぶりに本社移転を行いました。場所選びには1年を要しましたが、大阪城を望む素晴らしい立地に移転し、社員が安心して働ける環境を確保することができました。

内装については、業者の選定から什器類・レイアウトの検討など社内のプロジェクトメンバーが中心になって行いました。オフィスはワンフロアにすべてを集約し、各所に小ミーティングが行えるスペースを設けるなど機能的でコミュニケーションが取りやすい設計となっています。



#### 「安否確認システム」の運用開始について

事業継続計画の中で、社員の安全を確認するため、「安否確認システム」を導入しました。このシステムを導入することで、災害時、社員の安否を早く、確実に把握することができ、迅速な対応をすることができることとなりました。

#### 通報・相談窓口の設置

カナエでは、平成20年2月より、社外の専門機関と契約し、通報・相談窓口サービスを導入しております。健康相談をはじめ法律相談、コンプライアンス、セクハラ、パワハラについて相談を行うことができます。また、倫理規程に通報・相談者に対する不利益な取り扱いをしない内容が定められており、安心して通報・相談できるよう配慮しています。

### 理念実践プロジェクト

企業理念を浸透させて、カナエのコーポレートメッセージである「お客様に喜びと感動を感じて頂ける会社になる」を実現できるよう、プロジェクトという形で推進しています。

### 「さすがのカナエ掲示板」

その一環として、社内で「さすが」と思えるような行為などがあれば掲示板に投稿して共有化し、他の社員も参考になるようにしています。

それを積み上げることで、お客様や社会に対しても、そのような行動ができるようになると思います。



### 新人事制度導入

企業理念に基づいた人材育成を目指し、より納得感のある制度にするため、人事制度を大幅に改定しました。評価項目を企業理念に合致したものにするなど工夫するとともに、資格制度もチャレンジ的な要素を取り入れました。

## 5. 地域コミュニティ

### 「美しい街づくり運動」実施

新本社が入居したビルである「クリスタルタワー」が主催する「美しい街づくり運動」にカナエも積極的に参加することとしました。

クリスタルタワーの敷地内だけでなく、大阪城付近までごみを拾う活動を行っています。



### 定期市道側溝清掃実施

栃木工場では毎年定期的に工業団地内の工場周辺の側溝を一斉に清掃を行っています。今年は5月に実施しました。

### 地域コミュニティへの参加

カナエの野球部は大阪府軟式野球連盟旭支部に約40年以上前より所属しており、地域住民の方々と交流を図っております。成績としましては、Cクラスリーグで2005年度優勝、2010年度同クラス準優勝という成績を残しています。



## ■ 会社概要

株式会社力ナ工

設 立	昭和 31 年 3 月 29 日
資 本 金	3 億 5,381 万 4,600 円
代表取締役社長	岡本邦昭
従 業 員 数	401 名 (平成 23 年 10 月 21 日現在)
売 上 高	250 億円 (平成 23 年 10 月)
営 業 品 目	包装資材・包装機械の開発販売、包装受託加工、受託製造
所 在 地	

本 社	大阪市中央区城見 1 丁目 2 番 27 号	TEL 06 (6945) 1223
東 京 支 店	東京都中央区八丁堀 4 丁目 11 番 5 号	TEL 03 (5566) 4811
名 古 屋 営 業 所	名古屋市北区田幡 2 丁目 5 番 12 号 305 号室	TEL 052 (915) 3371
富 山 営 業 所	富山市布瀬町南 2 丁目 10 番 14 号	TEL 076 (492) 8708
流 通 セ ン タ ー	大阪市城東区今福西 6 丁目 9 番 27 号	TEL 06 (6932) 6231
包装技術開発研究所	神戸市中央区港島南町 5 丁目 2 番 7 号	TEL 078 (306) 6046
神 戸 工 場	神戸市中央区港島南町 5 丁目 2 番 7 号	TEL 078 (306) 6041
栃 木 工 場	栃木県真岡市寺内 599 番 4 号	TEL 0285 (80) 1881
愛 媛 工 場	愛媛県四国中央市川滝町下山 2326 番 5 号	TEL 0896 (59) 4326



# Life Care & Produce



Life Care & Produce



URL <http://www.kk-kanae.jp>

本 社	大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー23F	〒540-6023	TEL:(06)6945-1133	FAX:(06)6945-1211
東 京 支 店	東京都中央区八丁堀4-11-5 月星ビル3F	〒104-0032	TEL:(03)5566-4811	FAX:(03)5566-4817
名古屋営業所	名古屋市北区田幡2-5-12-305	〒462-0843	TEL:(052)915-3371	FAX:(052)915-3373
富山営業所	富山市布瀬町南2-10-14 ウイズ光陽1-A	〒939-8208	TEL:(076)492-8708	FAX:(076)493-0405
包装技術開発研究所	神戸市中央区港島南町5-2-7	〒650-0047	TEL:(078)306-6046	FAX:(078)306-2845